

# 船舶事故調査報告書

令和2年2月26日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成31年4月6日 11時55分ごろ
発生場所	福岡県福岡市博多港第3区 博多港 <sup>はし</sup> 端島灯台から真方位328° 1,540m付近 (概位 北緯33° 39.3′ 東経130° 19.7′)
事故の概要	ヨット <sup>ボン</sup> BONは、北北西進中、浅瀬に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成31年4月18日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	ヨット BON、8.5トン 235-44412福岡、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	船底及び左舷船側部の外板に擦過傷
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西北西、風力 3、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の初期
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者1人を乗せ、帆走しながら約4.5ノットの対地速力で北北西進中、船長が同乗者から水深が浅いのではないかとわれ、GPSプロッターを確認したところ、進路前方に2m等深線が張り出しているのを認め、急いで左転したものの浅瀬に乗り揚げた。 本船の喫水は、センターボード下端まで約1.7mであった。 船長は、10年ほど前に本事故発生海域付近の帆走経験があったものの、帆走海域の事前調査をしておらず、浅瀬の存在を知らなかった。
分析	本船は、北北西進中、船長が、浅瀬の存在を知らずに帆走していたことから、浅瀬の存在に気付くのが遅れ、浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、北北西進中、船長が、浅瀬の存在を知らずに帆走していたため、浅瀬の存在に気付くのが遅れ、浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・事前に帆走海域の状況を海図等で水路調査しておくこと。 ・帆走中も、GPSプロッターで自船の位置等を確認すること。